５ 福祉施設等職員研修の体系図について

（１）体系図の主旨

本県では、県をはじめ福祉総合研修センターや「高齢者」「障害者」「保育」の種別団体等（※１）において、福祉施設等職員の資質向上に向けた研修を実施しています。

県では、各主体が実施する研修情報を集約し、「各種別共通の研修」と「種別ごとの研修」をそれぞれ１枚にまとめた「福祉施設等職員研修の体系図」を作成しています。

福祉施設・事業所において職員の人材育成計画やキャリアパス、研修計画を立てる際に、また、福祉施設等で働く職員の方自身が研修受講を検討する際などに、この体系図をご活用ください（※２）。

なお、この体系図は石川県社会福祉協議会ウェブサイトの「福祉の研修」ページ内にカラーで掲載しております。

※１　種別団体等が実施する研修…石川県社会福祉協議会に事務局を置く団体が実施する研修（研修概要Ｐ８～３１に掲載されている団体の研修）

※２　体系図はあくまで研修受講の目安を示すものであり、記載されている各階層において、それぞれの研修を受講しなければならない、というものではありません。

（２）体系図の説明

① 体系図の１枚目は「３分野共通で受講可能な研修」、２～４枚目には「高齢者」「障害者」「保育」各分野別の「専門知識・技術を学ぶ研修」を記載しています。

② 体系図の横軸には、初任～管理者の４階層に分け、「階層の目安」「各階層の到達目標（求められる人材像）」「高めたい知識・スキル・姿勢の重点テーマ」を記載しています。

③ 縦軸には、必要となる能力群を記載しています。大きくは「マネジメント」「コンプライアンス」「コミュニケーション」「専門知識・技術」に分類しています。

④ 体系図内の研修は下記４種類に色分けして記載しています。

※各研修番号№○の○には、Ｐ８～３１、４６～４９に掲載のコース№を記載しています。

研修名（研修内容記載）… 階層別研修（福祉総合研修センターが実施）

研修名 … テーマ別研修（福祉総合研修センターが実施、及び、種別団体等が実施する会員限定のない研修）

研修名 … テーマ別研修（県が実施）

研修名 … 会員向けの研修（種別団体等が実施）

令和５年度　福祉施設等職員研修の体系図　【高齢者・障害者・保育３分野共通研修】

R5.3.22現在

		階　層			
		初　任	中　堅	リーダー	管　理　者
階層の目安		・概ね採用から３年未満 ・基本知識を身につけ、任せられた仕事を一つひとつやりきりながら、力を高める	・概ね３年以上で役職の無い者 ・現場業務の中心として、業務に精通し、関係者を巻き込みながら質の高い業務を遂行する	・役職がある者 ・自らが質の高い担当業務を行うだけでなく、職員を育て、動かしながら、組織としての成果を上げる	・施設を管理運営する者 ・個人と施設全体への働きかけを通じて、施設方針に基づいた運営を行うと同時に、よりよい施設づくりを推進する
到達目標 （求められる人材像）		・介護・障害・保育に関する基本知識、姿勢や行動、仕事の仕方を身につけている。 ・仕事の意味・価値を理解し、誇りを持てている	・現場の主役としての自覚を持ち、プロ意識を持って仕事に取り組む ・自分の業務を完遂するだけでなく、自分より経験が浅い職員の相談に乗る、面倒を見ることができる。 ・様々な経験を通じて専門性を高めて業務に活かしている。	・施設の運営方針や取り組みについて、上司に現場の情報を伝え、意見を交わすことができる。 ・指示や指導を通じて、職員の力を高めながら、仕事を前に進めることができる。 ・業務の効率や効果を高めるために、職員同士の交流を意図的に図ることで関係性を強化している。	・施設の方針や目標を定め、その目標実現に向けて業務が前に進むように最適な判断・行動が行える。 ・職員同士が切磋琢磨・協働しながら成果を出していける関係性を施設内に作っている。
階層別研修		No11.キャリアパス対応生涯研修（初任者）	No12.キャリアパス対応生涯研修（中堅職員）	No13.キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	No14.キャリアパス対応生涯研修（管理職員）
能力群	マネジメント ・施設経営（財務・組織運営） ・部下育成 ・統率力	・キャリアデザインとセルフマネジメント No4.社会福祉法人経営講座Ⅳ（財務管理研修）	・キャリアデザインとセルフマネジメント ・ワークライフバランス No21.ＯＪＴ指導者養成研修 No19福祉サービス総合研修	・キャリアデザインとセルフマネジメント ・リーダーシップ ・人材育成	・リーダーシップ、人材アセスメント ・組織運営、健康管理 No1～3.社会福祉法人経営講座（Ⅰ法人運営管理・Ⅱ労務管理・Ⅲ人事管理） No4.社会福祉法人経営講座Ⅳ（財務管理研修） No6.採用力強化セミナー No7.福祉施設経営指導事業研修 （1）「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」関係セミナー
	コンプライアンス ・基礎的な法令 ・社会常識（知識・意識） ・日常的なｺﾝﾌﾟﾗ事例 ・倫理	・社会福祉法 ・職業倫理 ・権利擁護 ・リスクマネジメント	・倫理 No15.福祉サービスに関する苦情解決研修 No22.ストレスマネジメント研修 No23.リスクマネジメント実践研修	・サービス評価	・福祉経営
	コミュニケーション ・基本スキル ・相手を慮る力，姿勢 ・チームケア ・コーチング	・フォロワーシップ ・コミュニケーションスキル ・チームアプローチ	・フォロワーシップ ・チームケア ・人間関係スキル No24.コミュニケーション技法実践研修 No25.アンガーマネジメント研修	・ティーチング、コーチング	・信頼関係構築
	専門知識 ・最新知識 ・プロ意識 ・事例研究 ・多職種連携 ・他分野知識	・多職種連携	・事例研究方法 No20.福祉の仲間づくり研修		・地域福祉参画
	業務別 監事	No5.社会福祉法人経営講座Ⅴ（監事研修）			
会員向け研修	県社会福祉法人経営者協議会				No8.県経営協全体研修（会員） No9.県経営協社会福祉法人経営者セミナー（会員） No10.県経営協セミナー（会員）

研修名
（研修内容記載）
・・・階層別研修（福祉総合研修センターが実施）

研修名
・・・テーマ別研修（福祉総合研修センターが実施、及び種別団体等が実施する会員限定のない研修）

研修名
・・・テーマ別研修（県が実施）

研修名
・・・会員向けの研修（種別団体等が実施）

※体系図はあくまで研修受講の目安であり、研修受講対象者が上記階層に限定されているわけではありません。
　福祉施設等職員のキャリアアップに向けた研修計画策定の参考にしていただければと思います。
※上記研修情報は予定です。今後、変更されることもありますので、研修の詳細や申し込みについては、担当課にご確認ください。

令和５年度　福祉施設等職員研修の体系図　【高齢者分野】

R5.3.22現在

		階層			
		初　任	中　堅	リーダー	管　理　者
階層の目安		・概ね採用から３年未満 ・基本知識を身につけ、任せられた仕事を一つひとつやりきりながら、力を高める	・概ね３年以上で役職の無い者 ・現場業務の中心として、業務に精通し、関係者を巻き込みながら質の高い業務を遂行する	・役職がある者 ・自らが質の高い担当業務を行うだけでなく、職員を育て、動かしながら、組織としての成果を上げる	・施設を管理運営する者 ・個人と施設全体への働きかけを通じて、施設方針に基づいた運営を行うと同時に、よりよい施設づくりを推進する
到達目標 （求められる人材像）		・介護に関する基本知識、姿勢や行動、仕事の仕方を身につけている。 ・仕事の意味・価値を理解し、自分なりの介護観を持てている。 ・新人に対して、基本的な業務の指導をすることができる。	・現場の主役としての自覚を持ち、プロ意識を持って仕事に取り組む ・自分の業務を完遂するだけでなく、自分より経験が浅い職員の相談に乗る、面倒を見ることができる。 ・様々な経験を通じて専門性を高めて業務に活かしている。	・施設の運営方針や取り組みについて、上司に現場の情報を伝え、意見を交わすことができる。 ・指示や指導を通じて、職員の力を高めながら、仕事を前に進めることができる。 ・業務の効率や効果を高めるために、職員同士の交流を意図的に図ることで関係性を強化している。	・施設の方針や目標を定め、その目標実現に向けて業務が前に進むように最適な判断・行動が行える。 ・職員同士が切磋琢磨・協働しながら成果を出していける関係性を施設内に作っている。 ・職員がモチベーション高く働ける職場づくりのための取組が施設として意図的に行えている。
高めたい知識・スキル・姿勢	重点テーマ	基礎知識・誇り ・現場の基礎知識 ・福祉職員としての自覚 ・他職種との協働	現場の主役の自覚・プロ意識 ・専門性 ・リーダーシップ ・中堅職員としての自覚 ・リスク対応	管理者の補佐・代行 ・リーダーシップ ・管理の原理原則 ・施設運営への意識 ・専門性	経営の視点 ・魅力ある職場づくり ・経営者と視野視界の共有 ・法令順守、労務管理 ・現場リーダーの育成
階層別研修		No28高齢者施設初任者研修	No29.高齢者施設中堅職員研修	No30.高齢者施設リーダー研修	
能力群 専門知識・技術	チームワーク、チームケア			・ファシリテーション	
	知識（高齢者特性、施策等）	・高齢者疾患の特徴 ・高齢者福祉の動向と施策			
	認知症介護	・認知症理解とかかわり (2)認知症介護サービス向上研修（認知症介護基礎研修） (3)認知症高齢者グループホーム初任者研修 (3)小規模多機能型居宅介護初任者研修		No32.認知症介護実践研修・実践リーダー研修	
	権利擁護（虐待）、リスクマネジメント	・高齢者の尊厳	(4)高齢者虐待防止研修（施設従事者向け） (6)身体拘束廃止実務看護職員研修 (8)虐待防止・在宅介護支援スキルアップ研修	・施設リスクマネジメント (7)身体拘束廃止推進員養成研修	(5)高齢者虐待防止研修（施設管理者向け）
	対人援助（ソーシャルワーク）	・認知症を抱えた方の理解とかかわり		・対人援助応用（スーパービジョン） No17.対人援助技術講座 No18.対人援助技術講座(指導者養成)	
	技術 ・生活支援技術 ・記録法 ・計画策定 ・多職種連携　等	・記録法 No120.県ホームヘルパー協議会スキルアップ研修会	・記録法　・口腔ケア ・栄養ケア　・より良いケア No35.多職種連携による施設ケアマネジメント研修 No119.県介護支援専門員協会研修 No121.県ホームヘルパー協議会ブロック別研修 (12)かかりつけ医等認知症対応力向上研修（座学） (13)かかりつけ医等認知症対応力向上研修事例検討会 (9)実践介護技術出前講座	No122.県ホームヘルパー協議会訪問介護計画作成・展開研修 No124.ホームヘルパー協議会サービス提供責任者研修 (10)ICT・IoT導入推進職員養成研修	No123県ホームヘルパー協議会管理者研修
業務別	栄養士・調理師		No36老人施設栄養士・調理員研修		
資格取得等にかかる研修	喀痰吸引等を行う介護職員	No26①.喀痰吸引等の実施のための研修（不特定多数の者対象）			
	介護支援専門員（詳細は石川県長寿社会課ＨＰ）	※介護支援専門員は、受験資格として保健医療福祉分野５年以上の実務経験が必要であるため、中堅としています	No43.介護支援専門員実務研修 No44-46.介護支援専門員更新研修	No47.主任介護支援専門員研修 No48主任介護支援専門員更新研修	
	認知症対応型サービス事業計画作成担当者・管理者・開設者		No31.認知症介護実践研修・実践者研修 No49.小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修		No33.認知症対応型サービス事業管理者研修 No34.認知症対応型サービス事業開設者研修
会員向け研修	県老人施設協議会		No37.老人施設職員研究会議（会員）		No38.県老施協施設長・事務長等研修（会員）
	県デイサービスセンター協議会		No39.デイサービスセンター職員研修（会員）		No40.デイサービスセンターセンター長等研修（会員）
	県地域包括･在宅介護支援センター協議会		No42.県地域包括・在介協職員研修（会員）		No41.県地域包括・在介協センター長等研修（会員）

研修名（研修内容記載）　・・・階層別研修（福祉総合研修センターが実施）

研修名　・・・テーマ別研修（福祉総合研修センターが実施、及び種別団体等が実施する会員限定のない研修）

研修名　・・・テーマ別研修（県が実施）

研修名　・・・会員向けの研修（種別団体等が実施）

※体系図はあくまで研修受講の目安であり、研修受講対象が上記階層に限定されているわけではありません。
　福祉施設等職員のキャリアアップに向けた研修計画策定の参考にしていただければと思います。
※上記研修情報は予定です。今後、変更されることもありますので、研修の詳細や申し込みについては、担当課にご確認ください。

令和５年度　福祉施設等職員研修の体系図　【障害者分野】

R5.3.22現在

		階層			
		初　任	中　堅	リーダー	管　理　者
階層の目安		・概ね採用から３年未満 ・基本知識を身につけ、任せられた仕事を一つひとつやりきりながら、力を高める	・概ね３年以上で役職の無い者 ・現場業務の中心として、業務に精通し、関係者を巻き込みながら質の高い業務を遂行する	・役職がある者 ・自らが質の高い担当業務を行うだけでなく、職員を育て、動かしながら、組織としての成果を上げる	・施設を管理運営する者 ・個人と施設全体への働きかけを通じて、施設方針に基づいた運営を行うと同時に、よりよい施設づくりを推進する
到達目標 （求められる人材像）		・障害に関する基本知識、姿勢や行動、仕事の仕方を身につけることで、適切な支援ができている。 ・成功体験を通じて、仕事の意味・価値・誇りを持てている。	・現場のリーダーとしての自覚を持ち、プロ意識を持って仕事に取り組んでいる。 ・自分の業務を完遂するだけでなく、自分より経験が浅い職員の業務指導、メンタルケアなど幅広い支援ができる。 ・様々な経験を通じて専門性を高めて業務に活かしている。	・施設の運営方針や取り組みについて、上司に現場の情報を伝え、意見を交わすことができる。 ・指示や指導を通じて、職員の力を高めながら、仕事を前に進めることができる。 ・業務の効率や効果を高めるために、職員同士の交流を意図的に図ることで関係性を強化している。	・施設の方針や目標を定め、その目標実現に向けて業務が前に進むように最適な判断・行動が行える。 ・職員同士が切磋琢磨・協働しながら成果を出していける関係性を施設内に作っている。 ・サービスの向上、顧客満足に向けて、意図的な人材育成が施設として取り組めている。
高めたい知識・スキル・姿勢	重点テーマ	基礎知識・自覚・誇り ・現場の基礎知識 ・コミュニケーション ・成功体験	現場の主力 ・専門性 ・チームワーク ・コミュニケーション ・リスク対応	事業の推進役 ・マネジメント ・課題解決 ・リスク対応 ・専門性	組織マネジメント ・マネジメント ・専門性 ・リスク管理 ・人材育成
階層別研修		No78.障害施設 初任者研修	No79 障害施設 中堅職員研修	No80.障害施設 リーダー研修	
能力群 専門知識・技術	チームワーク、チームケア		・チームワーク、チームケア	・コーチング	
	知識（障害者特性、施策、最新情報等）	・障害者特性 ・障害保健福祉施策 (13)発達障害者等相談支援従事者育成研修（初級）			
	対人援助（ソーシャルワーク）	・利用者主体の支援 (13)発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎）	・対人援助基礎	・対人援助応用（スーパービジョン） No17.対人援助技術講座 No18 対人援助技術講座(指導者養成) (13)発達障害者等相談支援従事者育成研修（専門） No94.障害者ピアサポート研修（基礎研修・専門研修）	
	技術 ・生活支援技術 ・記録法 ・計画策定　等	・各障害者特性における支援ポイント ・記録法 No81.就労支援基礎研修 No93.強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	・記録の重要性 No93.強度行動障害支援者養成研修（実践研修）		
	対話力	・コミュニケーション基礎技術			
	障害者福祉事業所運営		(14）福福連携による障害者就労支援事業		
	権利擁護（虐待）、リスクマネジメント	・虐待について	・権利擁護	・施設リスクマネジメント (15)障害者虐待防止・権利擁護研修	
資格取得等にかかる研修	重度訪問介護従事者	No110重度訪問介護従事者養成研修（基礎課程・追加課程）			
	同行援護従事者	(16,17)同行援護従事者養成研修（一般・応用）			
	知的障害者ガイドヘルパー	(18)知的障害者ガイドヘルパー養成研修			
	喀痰吸引等を行う介護職員	No26③.喀痰吸引等の実施のための研修（特定の者対象）			
	相談支援専門員		No82.相談支援従事者研修（初任者研修）	No83.相談支援従事者研修（現任研修） No85.主任相談支援専門員研修	
	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者		No84.相談支援従事者研修（専門コース別研修） No86.サービス管理責任者等基礎研修 No87.サービス管理責任者等実践研修	No88.サービス管理責任者等更新研修	
	医療的ケア児等コーディネーター		No92.医療的ケア児等コーディネーター養成研修		
会員向け研修	県社会就労センター協議会、石川セルプ振興センター		No95-96. 県セルプ協・振興センター職員研修、研修（会員）		

研修名（研修内容記載）・・・階層別研修（福祉総合研修センターが実施）

研修名・・・テーマ別研修（福祉総合研修センターが実施、及び種別団体等が実施する会員限定のない研修）

研修名・・・テーマ別研修（県が実施）

研修名・・・会員向けの研修（種別団体等が実施）

※体系図はあくまで研修受講の目安であり、研修受講対象が上記階層に限定されているわけではありません。
　福祉施設等職員のキャリアアップに向けた研修計画策定の参考にしていただければと思います。
※上記研修情報は予定です。今後、変更されることもありますので、研修の詳細や申し込みについては、担当課にご確認ください。

令和５年度　福祉施設等職員研修の体系図　【保育分野】

R5.3.22現在

		階層			
		初　任	中　堅	リーダー	管　理　者
階層の目安		・概ね採用から３年未満 ・基本知識を身につけ、任せられた仕事を一つひとつやりきりながら、力を高める	・概ね３年以上の者 ・現場業務の中心として、業務に精通し、関係者を巻き込みながら質の高い業務を遂行する	・役職がある者 ・自らが質の高い担当業務を行うだけでなく、職員を育て、動かしながら、組織としての成果を上げる	・施設を管理運営する者 ・個人と施設全体への働きかけを通じて、施設方針に基づいた運営を行うと同時に、よりよい施設づくりを推進する
到達目標 （求められる人材像）		・保育に関する基本知識、姿勢や行動、仕事の仕方を身につけている ・自分なりの保育観を養い、子どもを視る目や気付く力をつけている	・現場のリーダーとしての自覚を持ち、プロ意識を持って仕事に取り組む ・自分の業務を完遂するだけでなく、自分より経験が浅い職員の相談に乗る、面倒を見ることができる。 ・様々な経験を通じて、専門性を高めてマルチに対応できる力を持っている。	・施設の運営方針や取り組みについて、上司に現場の情報を伝え、意見を交わすことができる。 ・指示や指導を通じて、職員の力を高めながら、仕事を前に進めるとともに、その過程を通じて信頼関係を築いている。 ・業務の効率や効果向上、視野拡大ために、他施設のリーダーと交流することを意図的に行っている。	・施設の方針や目標を定め、その目標実現に向けて業務が前に進むように最適な判断・行動が行える。 ・職員同士が切磋琢磨・協働しながら成果を出していける関係性を施設内に作っている。 ・PDCAを適切に回すことで、問題解決、質の向上を施設として行えている。
高めたい知識・スキル・姿勢	重点テーマ	基礎知識・誇り ・現場の基礎知識 ・子どもを観る目、気づく力 ・自分の保育観、子ども観	マルチを目指す ・専門性 ・現場の課題解決 ・仕事の幅を広げる ・学びの実践	組み合わせる力 ・リーダーシップ ・管理の原理原則 ・精神的な強さ ・専門性	マネジメント力 ・職員とのコミュニケーション ・仕事のＰＤＣＡを回す ・職員評価・保育評価 ・施設管理 ・理念の下で自立的に動いていく力
階層別研修		No51.保育初任者研修	No52.保育中堅職員研修（キャリアアップ研修）（①～⑦）	No53.保育リーダー研修	No54.保育管理者研修
能力群 専門知識・技術	必要な心構え・基礎知識、成長発達知識	・保育士の心構え ・乳幼児の発達 ・ディスカッションを通して No70①.日本保育協会石川支部 メンタルヘルス研修Ⅰ（基礎編） No57①.保育カウンセリング研修（基礎・中級） (２２)子育て支援員研修（基礎）		・子どもの発達 No57②.保育カウンセリング研修（上級）	・教育・保育の理念と使命
	スキル（保育・教育の技術等）	No58.保育実技研修①～②	・乳児保育 ・幼児教育 ・保健衛生・安全対策 (19)保育専門学園 保育講座	・園内研修のすすめ	
	事例研究	(20)保育専門学園 事例研究	No59.県保育実践研究発表会 No60.保育ゼミ研修	No71.日本保育協会石川支部 幼児教育研修	
	指導計画、保育評価 国内外最新情報、教材研究			・これからの幼児教育と小学校との接続	・保育の動向と課題
	保育所施設運営		・マネジメント	・部下育成、組織マネジメント No70②.日本保育協会石川支部 メンタルヘルス研修Ⅱ（実践編）	・保育施設の管理運営 ・教育・保育の理念と使命
	チームワーク、チームケア	・ディスカッションを通して			
	障がい児保育		・障害児保育		
	食物・アレルギー		・食育・アレルギー対応		
	子育て支援（虐待対応含む）	(２２)子育て支援員研修（専門）	・保護者支援・子育て支援 (21)子育て支援コーディネーター養成研修・子育て支援コーディネーターフォローアップ研修・子育て支援総合アドバイザー養成研修		・虐待について
業務別	栄養士	No55.保育施設栄養士研修①～②			
	看護師	No56.保育施設看護師研修①～②			
会員向け研修	県保育士会	No62.県保育士会フレッシュセミナー（会員）	No61.県保育士会総会研修会（会員） No63.県保育士会特別セミナー（会員）	No64.県保育士会リーダー実践力向上セミナー（会員） No65.県保育士会主任・主幹セミナー（会員）	
	県保育部会				No66.県保育部会保育所・認定こども園理事長・施設長研修（会員）
	日本保育協会石川支部		No69.日本保育協会石川支部 新年研修（会員）	No68.日本保育協会石川支部 保育フォーラム（会員）	No67.日本保育協会石川支部 総会研修（会員）

研修名（研修内容記載）　・・・階層別研修（福祉総合研修センターが実施）

研修名　・・・テーマ別研修（福祉総合研修センターが実施、及び種別団体等が実施する会員限定のない研修）

研修名　・・・テーマ別研修（県が実施）

研修名　・・・会員向けの研修（種別団体等が実施）

※体系図はあくまで研修受講の目安であり、研修受講対象が上記階層に限定されているわけではありません。
　福祉施設等職員のキャリアアップに向けた研修計画策定の参考にしていただければと思います。
※上記研修情報は予定です。今後、変更されることもありますので、研修の詳細や申し込みについては、担当課にご確認ください。